

真夏の 3時間耐久レースTC1000

2014/3/1

耐久レース規定

●このレースの目的

この耐久レースは、マナー重視、安全第一のレースです。レース未経験者でも参加いただけます。いつもサーキットを走ってるご自分の愛車で、仲間とチームを組み共通の目的をもって走行することで、より一層の運転技術の向上を図ること目的とします。また、3時間耐久レースの作戦の計画と遂行を通して、仲間同士の親睦をより深めることを目的としています。

従ってクラブマン精神にのっとり、ルール重視の紳士的なレースをできる方だけがご参加いただけます。

●参加資格（ドライバー）

運転免許を持つもの（J A Fライセンスは不要）

1チームは2人以上でエントリーしてください。

マナー重視で、安全第一で走行できる方。

●申告タイム

すべてのドライバーは目標タイムを申告していただきます。ベストタイムよりほんの速く設定するのが好ましいです。

レース中、申告タイムを0.5秒以上、上回ってしまったら、1回につき、1周減算のペナルティーです。

申告タイムはハンデタイム計算に使いますのでとても大事です。

スタートの直前まで申告タイムは変更可能ですが、スタート後は変更できません。

●服装規定

レーシングスーツ、レーシングシューズ着用を推奨しますが、難燃性のつなぎなどでも参加可とする。

4輪走行に耐えるヘルメット着用を義務付けます。半帽は走行禁止です。

●車両規定

普段サーキットを走ってる車を持ち込んでいただければOKです。

ナンバー付ノーマルカー、ナンバーなしレーズカーいずれも出場可能。音量規制96dB以内。

ドライバー一人につき、それぞれご自分の車で参加してもOKですし、チームで車1台を交代で走らせてもOKです。

牽引フック装着は強く装着を推奨します。

走行時はオイル漏れなど無いように十分整備してください。

●連続乗車時間

1ドライバーの連続乗車時間はピット待機時間も含めて**10分以上30分以内**とする。

●グリッドおよびスタート

グリッドはくじ引きで決定します。

スタートはスタンディングスタートで行います。

●ピット作業

ピット作業は エアーチェック、ホイールナットの増し締め、窓ふき、など軽作業以外はピットロードでの作業は禁止です。ピットロードではなく、ピット内で行ってください。

●ドライバー（車両）交代

ドライバー交代時のピットインは車が完全停止してから、発進まで**1分以上**の間隔を取ることを義務付けます。

●ピットイン規定（計算ドリルアトラクション）

耐久レースをより面白くするために、チームで必ず一回ピットインを行い、簡単な計算ドリルをやっていただきます。

ゴール後、採点して答えを間違えると、間違った問題数だけ周回ペナルティーとして減算されます。

どのドライバーが行っても結構です。ただしこのピットインでドライバー交代は認められません。

また、ドリル計算中も、ピット待機時間もすべて連続乗車時間に含みます。

●ペースカー導入

耐久レースをより面白くするために、レース中数回、ペースカーを導入します。その時点でのラップリーダーを先導します。

ペースカー先導中はピットインが可能です。

●ゴール

スタートから3時間経過後チェッカーを振ります。

スロー走行でパドックに戻って来てください。ダブルチェッカーは5周減算。

●チーム周回ハンデ

各チームには実力に応じた周回ハンデが課せられ、レースの勝敗を面白くします。

ハンデについては主催者側が決定しますが、下記のような基準で行います。（実際は各種係数がかかる。）

例) わかりやすく例で示します。

全員申告タイム 4 5 秒で周回するAチームは理論周回数240周

全員申告タイム 5 0 秒で周回するBチームは理論周回数216周

ですのでBチームには24周ハンデとしてゴール後、加算します。

●給油

給油は基本的に禁止です。

どうしても必要な方はパドックで安全に行ってください。

● 監視

チームの監視は、ピットが隣になるチームがお互いに行います。記録用紙をお配りしますので、記録を必ずお願いします。
耐久レース中、チーム間での監視（ジャッジ）のご協力をお願いします。

● 賞典

参加チームすべてに表彰盾が授与されます。

● ペナルティー

黄旗追い越し 5周減算

黒旗無視 5周減算

ダブルチェッカー 5周減算

連続乗車時間違反 5周減算

マナー違反 5周減算

※レースまでに、この規定は追加および、一部内容が変更になる場合があります。